

日吉ダムの濁りの状況について (平成29年11月13日)

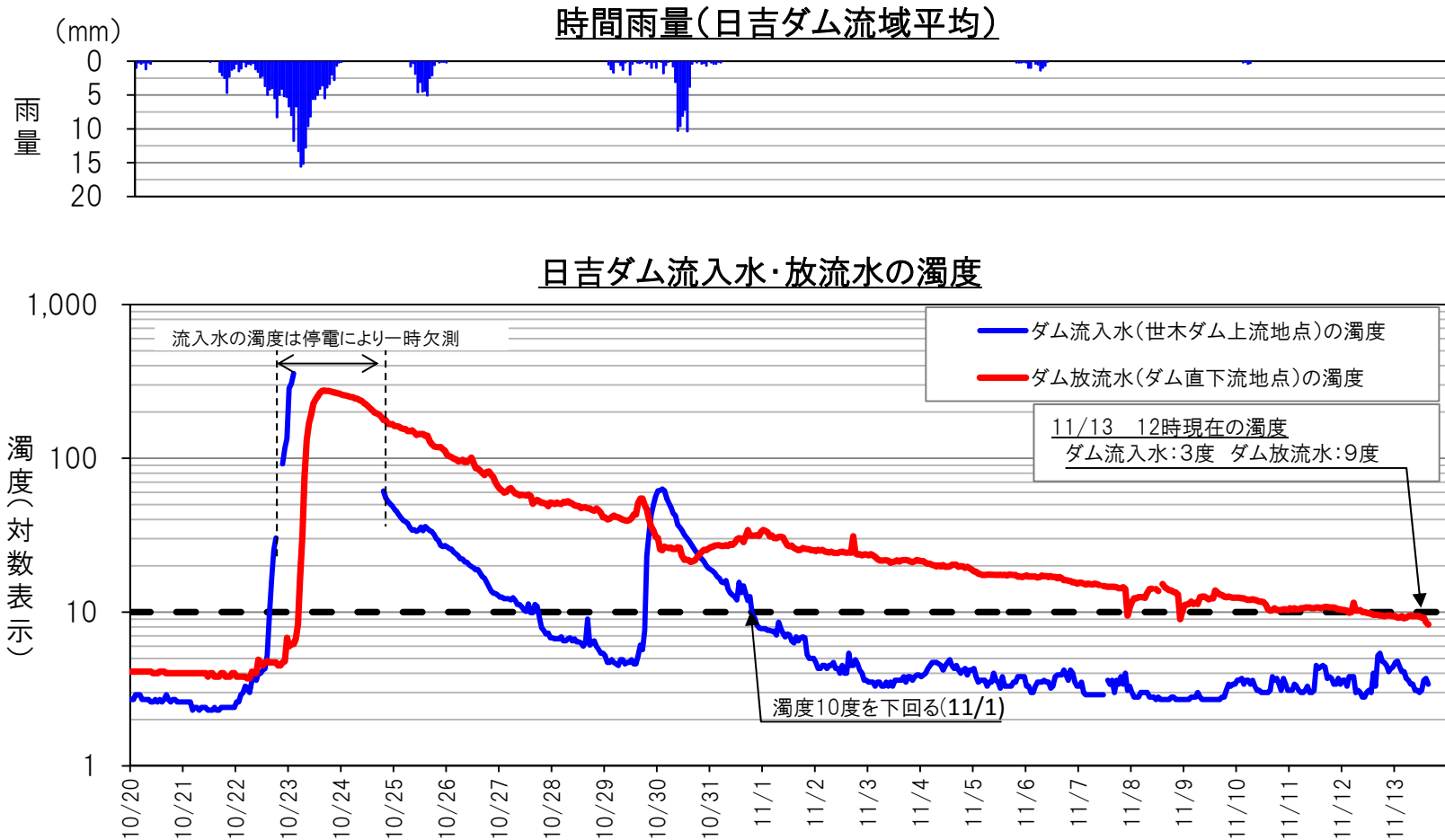
日吉ダムでは、10月の台風(21号及び22号)による出水に伴い濁水が貯水池に流入しました。

11月12日にはダムから放流する水の濁度も、濁水放流の目安である10度を下回りました。

11月13日現在、貯水池及びダムから放流する水は、徐々にきれいになってきています。

平成29年11月13日(12時現在)までの状況

台風21号前の10月20日から11月13日までの降雨量、ダム流入水とダム放流水の濁りの状況は下図のとおりです。



(備考)

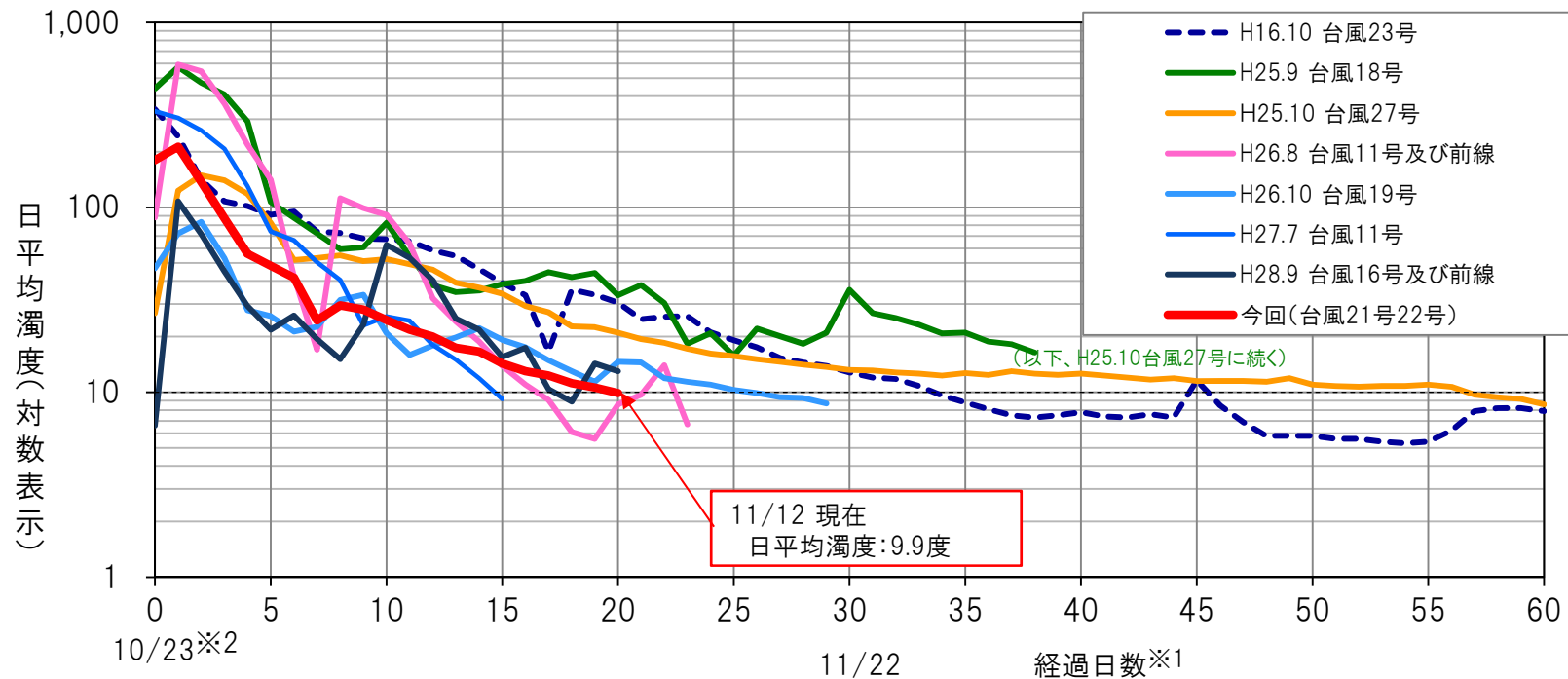
- ・「濁度」とは、水の濁りを表す指標です。「濁度1度」とは、精製水1リットルに“カオリン”という粘土鉱物を1ミリグラム溶かしたときと同じ程度の濁りです。
- ・濁りの目安として濁度が10度を超える場合を濁水としています。

ダム放流水(ダム直下流地点)の濁りの状況

一過去の出水との比較一

現在、ダムからの放流水は、選択取水設備により貯水池の表層から取水しています。
ダム放流水(ダム直下流地点)の日平均濁度は9.9度です。

今後、ダム放流水の濁りは、出水による濁水の再流入がなければ、出水前のレベルまで徐々に、低減していくものと考えられます。



※1 経過日数はダムへの流入量が最大に達した日からの経過日を示す。

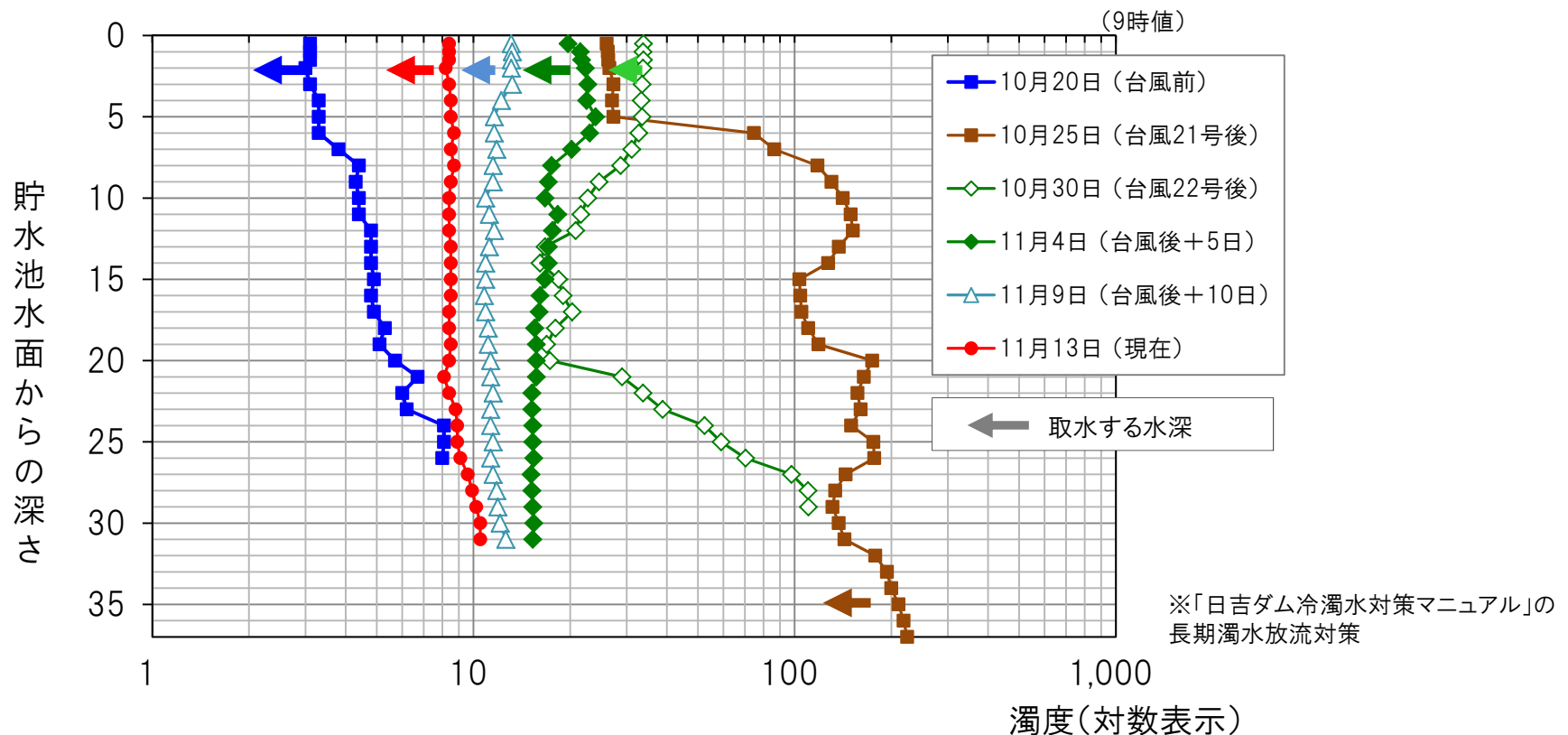
※2 日付は、今回のH29.10月(台風21号及び22号)出水の経過日に対応している

※3 日吉ダムでは長期濁水放流を「流入水が清澄になっても、ダム放流水が10度以上で、1週間以上継続する」と定義している。

ダム貯水池の濁りの状況

台風前の10月20日には、貯水池の浅い層から深い層まで10度以下の濁度で推移していましたが、台風21号及び22号による出水に伴い濁水が流入した為、10月30日には、貯水池の深い層では濁度100度を超え、浅い層でも濁度30度を超える濁りが生じました。その後、貯水池内の濁りは、濁質の沈降及び希釈により徐々に低下しています。

日吉ダムでは、貯水池内を早くきれいにするため、10月31日までは「高濁度水の優先放流※」をおこない、流入水が清澄になった11月1日以降は選択取水設備により表層取水をおこなっています。



ダム貯水池における水深毎の濁りの状況

日吉ダム及び上下流の濁り状況(2017年11月2日撮影)



④日吉ダム直下



③日吉ダム貯水池



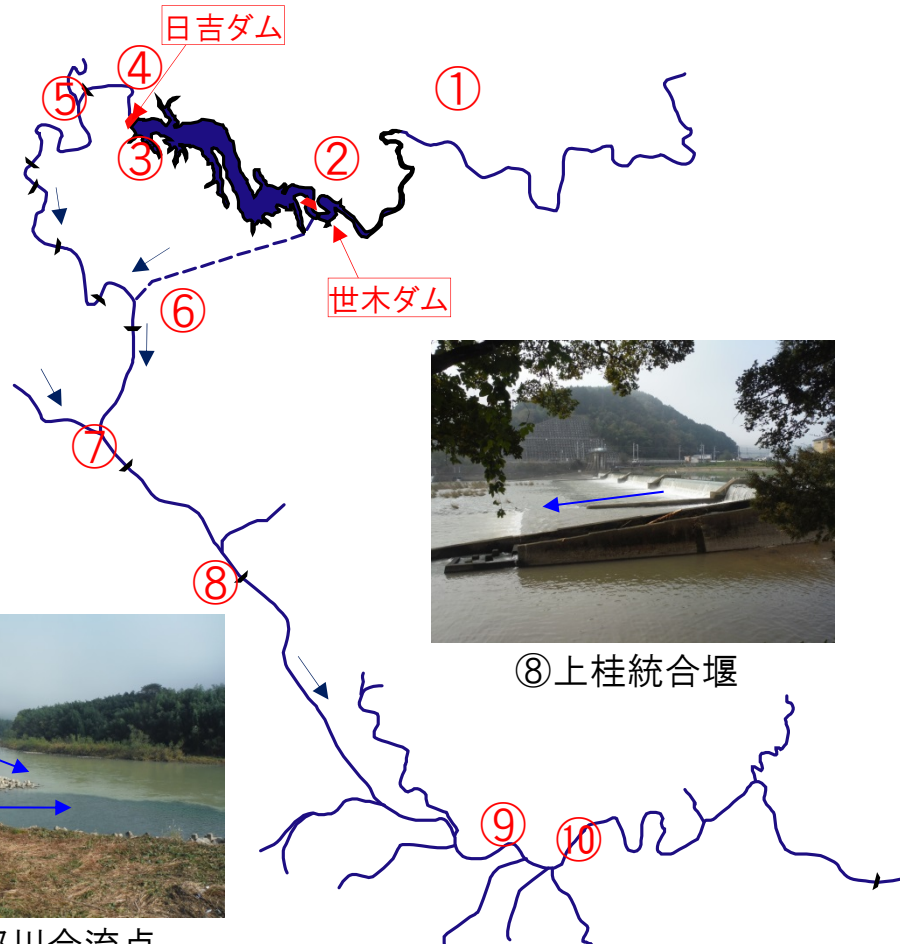
②世木ダム直上・直下



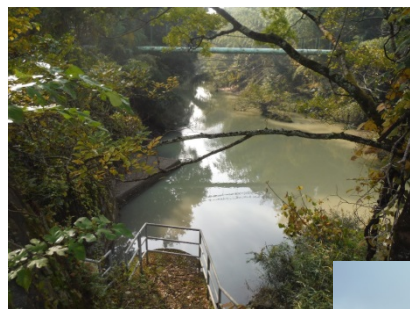
①流入河川(日吉橋下流)



⑤田原川合流点



⑨保津橋上流



⑥新庄発電所
放流口(停止中)



⑧上桂統合堰



⑦園部川合流点



⑩請田神社前

日吉ダム及び上下流の濁り状況(2017年11月9日撮影)



④日吉ダム直下



③日吉ダム貯水池



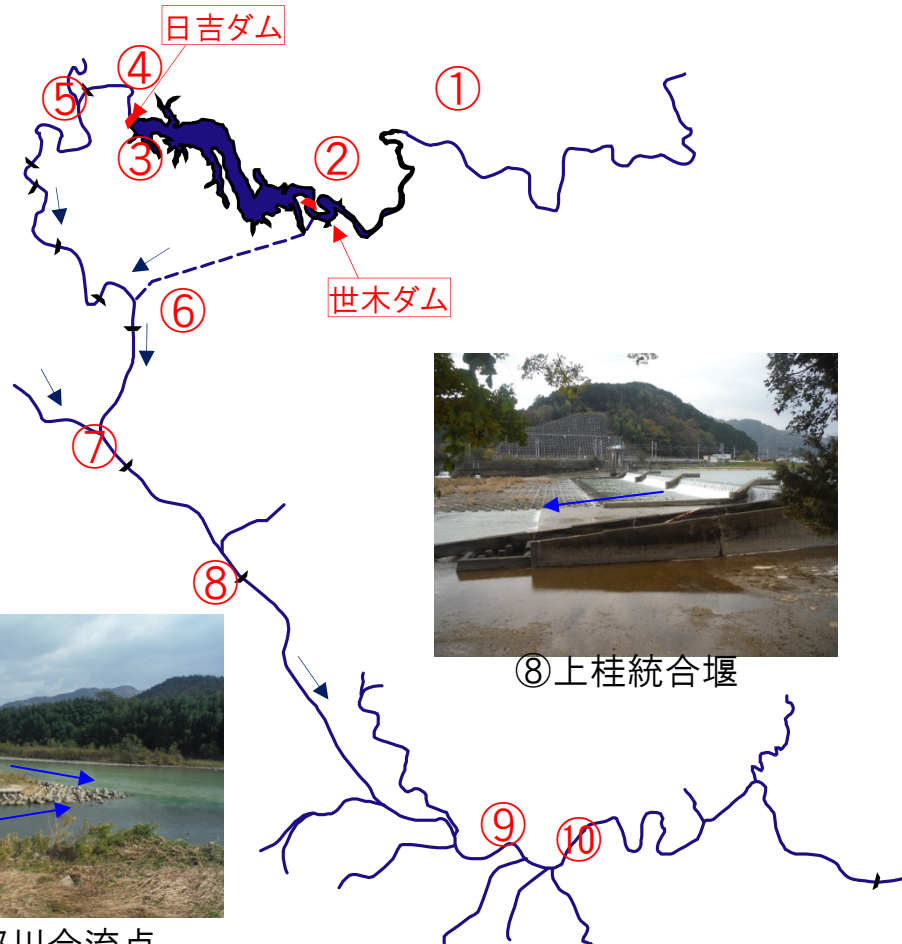
②世木ダム直上・直下



①流入河川(日吉橋下流)



⑤田原川合流点



⑨保津橋上流



⑥新庄発電所
放流口(停止中)



⑧上桂統合堰



⑦園部川合流点



⑩請田神社前

日吉ダム及び上下流の濁り状況(2017年11月13日撮影)



④日吉ダム直下



③日吉ダム貯水池



②世木ダム直上・直下



①流入河川(日吉橋下流)



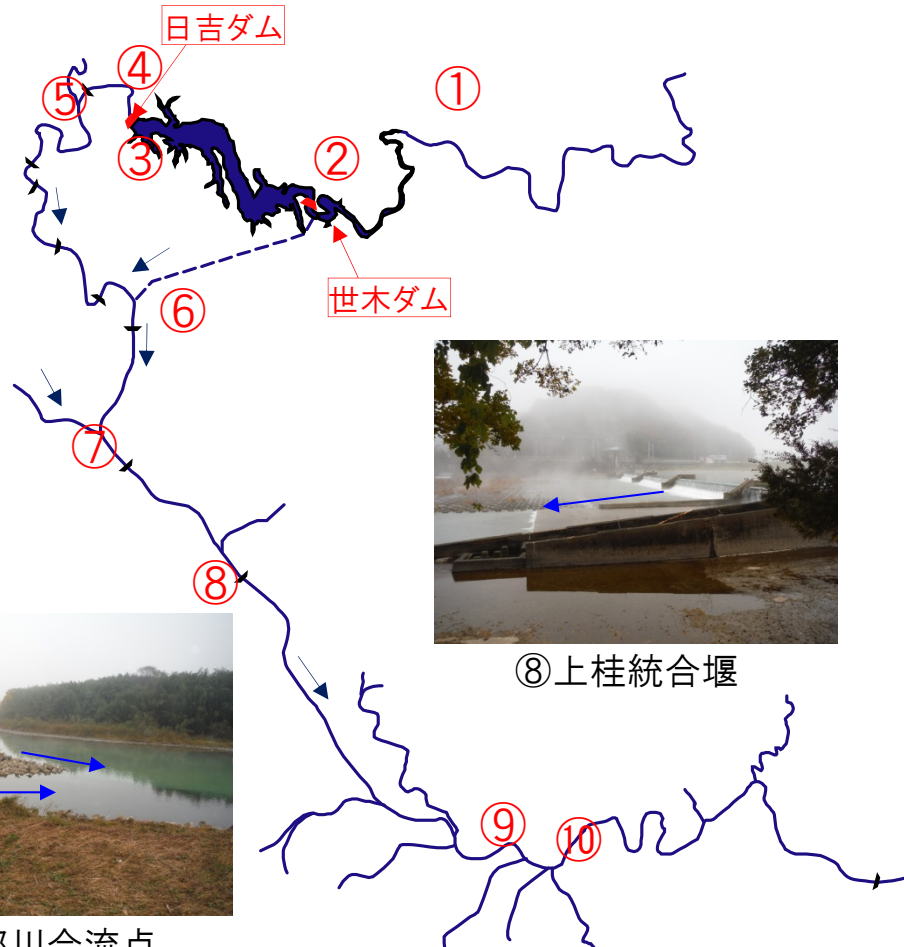
⑤田原川合流点



⑥新庄発電所
放流口(停止中)



⑦園部川合流点



⑨保津橋上流



⑧上桂統合堰



⑩請田神社前